南アメリカ・オセアニア
州

名前

問1　南アメリカのブラジルでは、2000年から2017年の間に、ある農産物の生産量が約32.7百万トンから約114.7百万トンへと、3.5倍近くにまで急増しました。この農産物として正しいものはどれか、次の中から選びなさい。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 小麦
2. 大豆
3. さとうきび
4. コーヒー

問2　オーストラリアの国旗の左上部分には、特定の国の国旗である「ユニオンジャック」が描かれています。この意匠（デザイン）は、オーストラリアがかつてどこの国の植民地であったことを示していますか、適切な国名を選びなさい。（2023年 島根県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国
2. フランス
3. ドイツ
4. イギリス

問3　ブラジルなどの新興国において、21世紀初頭に携帯電話契約数が急激に増加した背景や、当時の経済状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 岐阜県公立入試 類似）

1. 1人あたりの国民総所得が日本やアメリカを大きく上回る水準に達したため、最新のデジタル機器への買い替えが頻繁に行われた。
2. 急速な経済成長によって1人あたりの国民総所得が向上し、固定電話の整備が不十分な地域でも利用しやすい携帯電話が急速に普及した。
3. 経済成長が停滞したことで固定電話の維持が困難になり、代わりに通信コストの低い携帯電話へと一斉に切り替わった。
4. 広大な国土の全域に固定電話の回線網が完成したため、その補助的な通信手段として携帯電話の契約が推奨された。

問4　オーストラリアの土地利用の特徴について、土地面積に占める割合が約半分に達しており、世界の他の主要国と比較しても非常に高い割合を示している土地種別は何ですか。（2025年 山梨県公立入試 類似）

1. 森林
2. 耕地
3. 住宅地・工業用地
4. 牧場・牧草地

問5　ニュージーランドのラグビー代表チームが試合前に行うことで知られる、伝統的な踊りは「ハカ」と呼ばれます。この「ハカ」を継承してきた、ニュージーランドの先住民の名前として正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 栃木県公立入試 類似）

1. インディアン
2. マオリ
3. アボリジニ
4. イヌイット

問6　オーストラリアの20世紀後半から現在にかけての社会や貿易の変化を述べた説明文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 宮崎県公立入試 類似）

1. 1970年代以降の政策転換により、アジアからの移民が増加し、貿易相手国においてもアジア諸国の割合が高くなった。
2. ヨーロッパからの移民は激減したが、貿易相手国としては現在もアメリカやイギリスなどの欧米諸国が大部分を占めている。
3. 白豪主義の撤廃によってアフリカからの移民が最も多くなり、主要な貿易相手国も南米諸国に変化した。
4. 1970年代以降もヨーロッパからの移民が増加し続け、貿易相手国においてもイギリスの割合が最も高くなった。

問7　南アメリカ大陸のペルー周辺、標高4000mを超えるアンデス山脈の高地において、寒冷な気候や険しい地形に適応した伝統的な土地利用として正しいものはどれですか。（2018年 茨城県公立入試 類似）

1. タロイモやヤムイモの自給的な栽培
2. 小麦や大豆の大規模な機械化農業
3. サトウキビの広大なプランテーション
4. アルパカやリャマの放牧

問8　オセアニアの島々において、タロいもなどをバナナの葉で包み、地中の熱を利用して蒸し焼きにする調理法が発展した背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。（2022年 岡山県公立入試 類似）

1. 熱帯で手に入りやすい大きな葉を包材として活用し、食材の水分を逃さずに効率よく加熱するため。
2. 乾燥した気候で燃料となる木材が不足しているため、太陽光の熱のみで調理を行う必要があったため。
3. 寒冷な気候において、地下の凍土を利用して食材を凍結乾燥させ、保存性を高める必要があったため。
4. 高地で水の沸点が低く、食材に火が通りにくいため、地中の圧力を利用して煮込む必要があったため。

問9　南アメリカ大陸のアルゼンチンからウルグアイにかけて広がる「パンパ」と呼ばれる地域について、その気候と農業の特徴を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

1. 温帯の気候で肥沃な土壌に恵まれており、小麦の栽培や肉牛の放牧が盛んに行われている。
2. 高山気候に属する厳しい環境であり、リャマやアルパカの放牧とジャガイモの栽培が行われている。
3. 乾燥した気候の砂漠地帯であり、わずかなオアシスを利用して綿花やブドウが栽培されている。
4. 熱帯雨林が広がる地域で、焼畑農業によってキャッサバや天然ゴムの生産が行われている。

問10　南アメリカ大陸南部に位置し、国土面積が約280万平方キロメートルにおよぶある国について説明した資料があります。その資料によると、この国はとうもろこしの生産量が年間約5900万トンに達し、日本への輸出額も1500億円を超えるなど、農牧業が非常に盛んな国であることがわかります。この国はどこですか。（2026年 山形県公立入試 類似）

1. アルゼンチン
2. ベトナム
3. ロシア
4. コンゴ民主共和国

問11　南アメリカのアンデス山脈沿いに位置する都市において、月平均気温の推移が「年間を通して10度から15度の間で横ばい」となり、降水量は5月から8月の冬にあたる時期に少なく、夏に多くなるという特徴が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 神奈川県公立入試 類似）

1. 内陸の盆地に位置しており、夏と冬の気温の差が非常に大きくなるから。
2. 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。
3. 赤道直下の低地であり、強い日射によって一年中気温が高く上昇気流が発達するから。
4. 高緯度の寒冷な地域に位置しており、偏西風の影響を強く受けているから。

問12　オセアニア州に位置するニュージーランドにおいて、ヨーロッパの人々が入植する以前からこの地に居住し、現在も独自の言語や「ハカ」などの伝統文化を継承している先住民族を何と呼びますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）

1. アボリジニ
2. ヒスパニック
3. マオリ
4. イヌイット

問13　ブラジルの貿易統計において、1970年には輸出総額の約36パーセントをコーヒーが占めていましたが、2015年には機械類、鉄鉱石、大豆、肉類など輸出する品目が多岐にわたるようになりました。このように、特定の農産物や資源の輸出に依存する状態を抜け出し、工業化などを進めて経済の安定を図る変化を何と呼びますか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 輸入代替工業の廃止
2. プランテーションの拡大
3. 累積債務問題の解消
4. モノカルチャー経済からの脱却

答え合わせ・解説

問1	答え 2 大豆	21世紀に入り、ブラジルでは中西部の未開発地（セラードなど）における農地開発が急速に進みました。特に、中国などの経済成長に伴う家畜の飼料としての国際的な需要が高まったことを背景に、大規模な機械化農業による生産が拡大しました。その結果、生産量だけでなく世界シェアや輸出量においても世界有数の規模を誇るようになっています。
問2	答え 4 イギリス	オーストラリアは18世紀後半からイギリスによる開拓が進められ、その植民地となった歴史を持っています。1901年に独立した後も、イギリスとの歴史的・文化的な強いつながりを示すために、イギリスの国旗であるユニオンジャックが自国の国旗の左上に配置されています。現在も公用語として英語が使われているのも、この植民地時代の背景によるものです。
問3	答え 2 急速な経済成長によって1人あたりの国民総所得が向上し、固定電話の整備が不十分な地域でも利用しやすい携帯電話が急速に普及した。	ブラジルでは2000年代、経済成長に伴って中間層が拡大し、携帯電話などの情報通信機器を購入できる人々が増えました。開発途上国や新興国では、固定電話のインフラ整備を待たずに、無線で通信可能な携帯電話が先行して普及する「リープフロッグ（カエル跳び）」現象が見られることが多く、ブラジルもその代表例です。1人あたりの国民総所得が約1万ドルという水準は、生活の質が向上し、高度なサービスやインフラが社会全体に広がる段階であったことを示しています。
問4	答え 4 牧場・牧草地	オーストラリアは乾燥した気候の地域が広範に及んでいるため、農作物を栽培する耕地よりも、乾燥に強い家畜を飼育するための土地利用が適しています。その結果、広大な国土の約5割が牧場や牧草地として利用されており、牛肉や羊毛などの畜産物が主要な輸出項目となる要因となっています。
問5	答え 2 マオリ	ニュージーランドには先住民であるマオリが居住しており、その伝統文化である踊り「ハカ」は、現代でもラグビーの試合などで披露され、国の象徴的な文化として大切にされています。一方、アボリジニはオーストラリア、イヌイットはカナダなどの北極圏周辺、インディアンは北米の先住民を指す用語です。
問6	答え 1 1970年代以降の政策転換により、アジアからの移民が増加し、貿易相手国においてもアジア諸国の割合が高くなった。	オーストラリアでは1970年代に白豪主義が撤廃された結果、ヨーロッパ系中心からアジアからの移民が増加する変化が見られました。また、かつては旧宗主国であるイギリスとの貿易が中心でしたが、現在では地理的に近い中国や日本などのアジア諸国が主要な貿易相手国となっています。
問7	答え 4 アルパカやリャマの放牧	アンデス山脈の標高4000mを超える高地では、気温が低く酸素も薄いため、一般的な作物の大規模な栽培には適していません。一方で、アルパカやリャマはこうした厳しい高地環境に適応しており、その毛を衣類の原料にしたり、荷物の運搬に利用したりすることができるため、古くから放牧が行われてきました。選択肢にある大豆やサトウキビは、より標高が低く温暖な地域や平原で行われる土地利用です。
問8	答え 1 熱帯で手に入りやすい大きな葉を包材として活用し、食材の水分を逃さずに効率よく加熱するため。	伝統的な調理法は、その地域の自然環境や入手可能な資源を背景に発展しています。オセアニアではバナナのように大きな葉を持つ植物が豊富に自生しており、これを利用して食材を包むことで、蒸気と熱を逃がさずに蒸し上げることが可能になりました。この方法は、大規模な調理器具がなくても、焼いた石と地中の熱を利用して大量の食材を一度に調理できる合理的な仕組みです。
問9	答え 1 温帯の気候で肥沃な土壌に恵まれており、小麦の栽培や肉牛の放牧が盛んに行われている。	パンパは、南アメリカ大陸のラプラタ川流域に広がる広大な草原地帯です。この地域は温暖な気候と「パンパ土」と呼ばれる肥沃な土壌を背景に、世界有数の農業・牧畜地帯となっています。特にアルゼンチン側では、東部の湿潤な地域で小麦などの穀物栽培、西部の乾燥気味の地域で肉牛の放牧が組み合わせて行われており、これらは同国の主要な輸出製品となっています。
問10	答え 1 アルゼンチン	南アメリカ大陸南部に位置するアルゼンチンは、広大なラプラタ川流域の平野などを活用した大規模な農牧業が発展しています。特にとうもろこしや大豆、牛肉などの生産が世界的に有名であり、日本の食卓を支える農産物の重要な輸入相手国の一つとなっています。
問11	答え 2 低緯度の赤道付近に位置しながら標高が高いため、涼しい状態が一定して続くから。	南米アンデス山脈の高原地帯は赤道に近い低緯度にあるため、月ごとの平均気温の差である年較差が非常に小さくなります。しかし、標高が数千メートルに達するため、気温そのものは低地よりも大幅に低くなり、一年中涼しい高山気候特有のグラフ（横ばいの気温曲線）を示します。この気候を活かして、古くからインカ帝国のクスコのような都市が発展してきました。
問12	答え 3 マオリ	ニュージーランドの先住民族であるマオリは、ポリネシア系の人々をルーツに持ち、独自の伝統を大切にしています。一方、アボリジニはオーストラリアの先住民族、イヌイットは北極圏の先住民族、ヒスパニックは北米などにおけるスペイン語圏からの移民を指す言葉であり、混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 4 モノカルチャー経済からの脱却	かつてのブラジルはコーヒーなど特定の農産品の輸出に頼るモノカルチャー経済でしたが、現在は鉄鉱石などの鉱産資源や、機械類といった工業製品の輸出を増やすことで、経済構造の多角化（モノカルチャー経済からの脱却）を進めています。